

何歳でも挑戦楽しむ

ラジオショッピングの放送を終え、向かった先は浦添市勢理客の介護事業所「デイサービス」の

内にはアロマがたかれ、訪れる人を癒やしてくれる。

幸地さんが介護施設を開設したのは2カ月前の昨年11月1日。県が制定した「琉球歴史文化の日」に合わせて「文化を継承してくれる高齢者を大事

にしよう」と思いを込めた。約30年、アナウンサーの仕事しながら多くの資格を取っていた。そのなかに社会福祉主事、サービス介助士、訪問介護員2級もあり、母親の介護をした経験もあるが、開業前は「自信がなく決心がつかなかった」と振り返る。コロナ禍で



幸地 由宥子さん

介護事業所「デイサービス」代表

「たのシーサー」代表



こうち・ゆうこ 1963年生まれ。本部町出身。フリーアナウンサー。司会業としてテレビ、ラジオなどで活躍する他、葉騰インストラクター、ウェディングアドバイザーなど10以上の資格も取得。美ら海亭優々として落語に親しむ。

自分の生き方を見つめ直し「覚悟を決めた」。

自らの人生を「いつも誰かに試されている気がする」と語る幸地さん。

1人で5人の子どもを育てた母親は末っ子の幸地さんを、周りより1年早く小学校に入学させた。

高校を卒業する前に家業だった保育園運営が傾き、親を手伝うために休学。大学進学を諦めて社会に出た。本部町で初代

ミス桜の女王に選ばれ、テレビやラジオの仕事をはじめた。「意図していな

いのに導かれるように歩んできた」と笑う。今回も、親族に推され介護事業所の代表として先頭に立つことになった。

たのシーサーは20人定員の少人数施設。利用者それぞれの思いにかなったサービスを構築中だ。

ネイルや眉毛アート、ドライブしながら足湯、コーヒーの豆引き。「今まで経験のないことに挑戦してほしい」と刺激的な活動を用意する。「年を取る

と『できない』と感ずるこの仕事が一番楽しいさあ」と話す表情にエネルギーがあふれていた。



介護事業所「デイサービス」の代表を務める幸地由宥子氏（中央）＝2021年12月16日、浦添市勢理客